＞総経理インタビュー

上海長瀬貿易有限公司7代目であり、初の現地人材の総経理。その後、中国地区統括会社である長瀬（中国）有限公司の総経理にも就任。
マーケット環境が大きく変わる中国商社ビジネス、どのようにして現地人材の総経理が誕生し、これからどのように戦っていくのかを長瀬（中国）有限公司董事総経理である胡穎氏に聞いてみた。

NAGASE
Bringing it all together

長瀬（中国）有限公司

総経理/董事

胡 穎

① 現地人材が総経理になることは日系企業では珍しいと思いますが。

はい。一般的に日系企業に対しては保守的な印象を持たれている方が多いと思います。しかし、弊社はそうではありませんでした。2002年の入社時から現地法人の経営に関わるポジションを与えてもらうことができました。また、2007年には日本本社に逆出向という形で日本に数年間、派遣もして頂きました。

② 日本への逆出向ですか？

はい。日本本社は当時から現地人材を経営幹部に引き上げていくという考えを持っていました。

そのためには日本本社の企業文化、日本本社からの視点でグローバルビジネスを知ってもらう必要があるということでそのような機会を頂きました。自身にとってもこの期間は大変勉強になりました。このような機会を与えてもらうことができ、非常に恵まれていると感じています。

③ 入社当初から総経理になる予定もあったのですか？

そうではありませんでした。一方で、入社する前から、個人的に"日本に関わりがあり、且つ中国にメリットがある仕事がしたい"と考えていました。そして、縁があって入社することになりました。今の会社には私の想いを実現できる舞台があります。目標に向けて一生懸命頑張っております。同時に周りに対する責任感も、途中から芽生えてきました。

④ 周りに対する責任感ですか？

はい。それは保守的な日系企業のイメージを変えたいということです。現地人材である私が日系企業の中で発展し続けることが、周りの現地人材に対しても良い影響を与えると考え始めました。つまり日系企業でも総経理になれるということをみなさんに知ってもらいたいということです。

⑤ 総経理になられてからはどんなことに取り組んでらっしゃいますか？

まずは事業部制による事業展開の推進が挙げられます。

以前はエリア制でビジネスを展開しておりました。しかし各事業の専門性に対する要求が高まっていく中で、2020年から組織を事業部制に再構築しました。現在の組織は、6つの事業部（半導体、自動車、生活関連、ケミカル、電子材料、加工材料）から成っています。

⑥ 新規事業への参入も積極的に行っているとのことですか？

はい。5G・6Gなどの次世代通信関連事業や、半導体関連事業、EV関連事業、また日本本社では北米の食品素材販売・加工会社の子会社化など、新たなビジネス領域を拡大し続けています。弊社は商社でありながら、製造・加工・研究開発の機能を有し、またそれらに対して積極的に投資を行っています。これは、マーケットの変容に合わせて柔軟に事業の転換を果たしてきた結果だともいえます。こういった"ユニークさ"が弊社の強みだと考えています。

⑦ 人・組織に対しては新総経理としてどんなメッセージを出していますか？

"顧客価値"、"企業価値"そして"個人価値"の向上です。

顧客にとっての価値は我々のビジネスの源泉です。また株式会社であり、投資を受けて事業運営をしている以上、企業価値の向上も必須です。これらと同時に個人としての価値も向上できる人・組織をつくっていきたいと考えています。私個人としても、この三つの価値の向上を非常に大切にしております。

またこの三つの価値向上を実現してくれた人に対しては、どんどん発展の機会を提供したいと考えています。現状、現地人材が占める幹部の比率は年々高まってきています。今後も推進していく構えです。

また、採用活動においても同業出身者や日本語人材に限らず、より幅広い人材に門戸を広げていきたいと考えております。

⑧ 最後に読者の皆さまにメッセージをお願いします。

特に現地で働く方々に伝えたいことがあります。それは中国における日系企業の役割が変化しているということです。これはみなさんにとって大きなチャンスです。現地法人の役割は、以前のように日本本社のやり方をフォローするというだけではなくなっています。現地法人、そしてそこで働いているみなさまがどのように行動していけば良いのか、深く考えた上で自ら行動することが求められています。またそれが実行できれば、みなさまにとっての発展空間は以前よりもはるかに大きなものになっています。今、私たちがおかれている状況を機会として捉えて頑張りましょう。

～～取材を終えて～～

"利他の精神"が非常に強い方だと感じた。インタビューの中で"社会への貢献"、"会社への貢献"そして"周りへの貢献"を強く意識して働いていることが感じられた。また機会を与えてくれて育ててくれた会社に対して、とても感謝している様子もうかがえた。胡穎氏が引っ張る長瀬中国の将来が非常に楽しみだ。

—— PERSOLKELLY China　総経理　喜島孝広